

# 令和6年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果検証

## 学校の概要

大阪市立茨田南小

学校

児童数

65

### 平均値

5年生	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール 投げ	体力合計点
男子	14.90	19.12	30.07	35.49	41.54	9.71	148.95	22.12	49.23
大阪市	15.78	19.09	32.72	38.56	45.05	9.52	147.96	20.45	51.13
全国	16.01	19.19	33.79	40.66	46.90	9.50	150.42	20.75	52.53
女子	15.35	17.70	34.17	32.30	29.13	10.17	137.39	11.00	48.48
大阪市	15.64	18.06	37.62	36.76	34.65	9.83	139.56	12.71	52.47
全国	15.77	18.16	38.19	38.70	36.59	9.77	143.13	13.15	53.92

### 結果の概要

体力向上の目標・指標として、体力合計点を前年度5年生より上回ることとしていたが、男子で+1.32ポイント、女子で0.81ポイント上回ることができた。種目別では男子において、上体お越し・立ち幅跳び・ソフトボール投げの3種目で大阪市平均を上回った。特にソフトボール投げにおいては、最近の2年間は全国平均との差が大きかったが本年度は全国平均を上回ることができた。質問紙の結果「運動やスポーツをすることが好きですか」の項目の肯定的割合は、男子は97.6%、女子は82.6%で、男子において大阪市平均・全国平均を大きく上回った。女子においては若干下回る結果となった。1週間の総運動時間が60分未満の児童の割合は男子が4.8%、女子は17.4%となり、男子は全国・大阪市を大きく下回ることができた。女子においても大阪市平均は下回った。

### これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

全学年において体力テストを実施し、経年的に学校として検証している。数年前からの課題であった柔軟性においても改善されつつあるが、今年度の5年生に関してはポイントを落とす結果となった。ただ、令和4年度に一度低下した調査結果を、体力合計点の上では年々上昇してきていることも踏まえ、校舎建築工事により半分の広さになっている運動場ではあるが児童の一日の運動量は確保されてきた。体育の授業形態の工夫や校外で行われる各種スポーツ大会への積極的参加を今後も促していき、児童の体力向上を進めていかなければならない。何よりスポーツをすることの楽しさを、より実感できるような授業研究をすすめる、また校内での「かけあし運動」「なわとび運動」等の体力アップ期間の設定も今後も継続して進めていく。